

2019年6月27日

各 位

田岡化学工業株式会社

名古屋大学(ITbM)とグラフェンナノリボン量産製造法 の確立を目的とした共同研究を開始

当社は、名古屋大学（トランスフォーマティブ生命分子研究所「ITbM」（所在地：愛知県名古屋市、拠点長 伊丹健一郎教授））とナノグラフェン・グラフェンナノリボンの製造方法に関する共同研究契約を締結すると共に、名古屋大学が出願中であるグラフェンナノリボンに関する特許（特願2017-563871）について、製造実施に係るオプション契約を締結しました。

今後は両方でモノマーやグラフェンナノリボンの量産製造法の確立を目的とした共同研究を行い、量産化の進展により、様々な応用展開の促進を通じて実用化を目指してまいります。

（関連リンク先：<http://www.itbm.nagoya-u.ac.jp/ja/research/2019/06/post-9.php>）

<グラフェンナノリボン>

グラフェンをナノメートルサイズの幅に切り出した帯状の物質であり、シリコン半導体を超える半導体特性や透明性・柔軟性などから、次世代のトランジスター、センサー、電子回路などへの応用が期待されている材料。

■本件に関する問い合わせ先

田岡化学工業株式会社 総務人事室
大阪市淀川区西三国4丁目2番11号
Tel: 06-6394-1221